

040 室町時代 政治史⑤ 室町幕府

<2代将軍足利義詮>

①38歳で病に倒れる。

あ 10歳の3代将軍足利義満の補佐を、
京極高氏と一族の細川頼之に「わが子
を託す」とれを尽くして遣言。

い 墓は 南朝の楠木正行 と隣同士

<3代将軍足利義満>

①10歳で征夷大将軍就任。

足利一族の管領細川頼之が補佐。

22歳で自ら政治(細川頼之は引退)

② 太政大臣 に就任。武士で2人目。

③室町幕府の体制確立

あ 花の御所 の造営
京都の室町に幕府を新しく造営
…「室町」の語源。

い 南朝優勢だった九州平定

後醍醐皇子の 懷良親王 が
九州の支配者・征西大将軍を自称。

懷良親王が、中国の皇帝から
日本国王 良懷 に冊封されて、
朝貢貿易 を行った中国側記録あり。

実は倭寇活動にも精を出していた…

文武兼備の名将 今川了俊 を
九州探題 に任じ、九州平定。

う 南北朝の合一

・南北朝の動乱60年の教訓…武力で抑え
つけるだけでは、平和は実現しない。

➡ 死者を弔う力

・足利義満、3年かけて 筈 を習う。
→時間をかけて公家たちの理解を得た。

・足利義満「持明院統と大覚寺統の
両統迭立に戻しませんか?」

南朝の 後龜山天皇 が

吉野 の山中から出てきて

皇位と三種の神器を放棄。

→北朝の 後小松天皇 に
(持明院統)に統一

➡ 後醍醐と逆

※後小松天皇が北朝で皇位独占して
しまい、両統迭立は守られなかった。

➡ 現在の皇室は北朝の子孫

え 朝廷の権限を幕府に移す

棟別銭 の徴収権など
検非違使の権限を侍所に移す。

③ 守護大名の勢力を削る

南北朝の動乱を戦って、多くの
恩賞を得たため強大化していた。

土岐康行…3か国もの守護職。

→土岐康行の乱で滅ぼす。

山名一族…新田一族だが、
南朝から寝返る。一族で合計
11か国の守護職を与えられる。
山名一族は 六分一衆 と
呼ばれた。

大内義弘…南朝との戦いに功績
をあげた武将。長州など6か国
もの守護職。領内の 倭寇 を
禁圧して私貿易にも力を入れた。

あ 土岐康行の乱。挑発して滅ぼす

い 明德の乱…山名氏清 滅ぼす
→山名は守護職3か国に減らされた。

う 応永の乱…大内義弘 滅ぼす
→大内も守護職3か国に減らされた。

え 今川了俊の九州探題職を解任、
→駿河守護 に左遷。

〇4〇 室町時代 政治史⑤ 室町幕府

③日明貿易の開始

＜足利義満はなぜ出家した姿なのか＞

正使 漢詩ができる禅僧の 祖阿^{そあ}

副使 博多の商人の 肥前^{こいつみ} を派遣

特徴 明の皇帝へ貢ぎ物を送るという

朝貢貿易 の形式

(900年ぶりに日本が下の立場)

足利義満、将軍職を足利義持^{よしもち}に譲って

出家し、 道義^{どうぎ} と名乗った。

明の皇帝から 日本国王源道義^{げんどうぎ} の

称号。国書には 日本国王臣源^{しんげん} と署名。

義満が将軍を辞めたのは、幕府の将軍が
皇帝の臣下になるという事態を防ぐため。